家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2026 5

諦めなければ近づく第一志望校合格

協力：麻布個人指導会

中学入試まで残り約2か月となり、受験勉強もいよいよ大詰めです。入試までに残された時間でどんな勉強をすれば合格に近づけるのでしょうか。麻布個人指導会の2名のベテラン講師に、今から確実に得点を上昇させるコツを4教科について話してもらいました。アドバイスを役立てて決して諦めることなく、むしろ上を目指す気持ちで直前期を乗り切りましょう。



横林（よこばやし）芳雄（よしお）講師

中学受験の指導に20年以上のキャリアがあり、麻布個人指導会で送り出した受験生は延べ200名に達する。毎年、難関・上位校へ合格者を輩出する一方で、厳しい状況から巻き返して合格へと導く手腕にも定評がある。

最近の合格実績

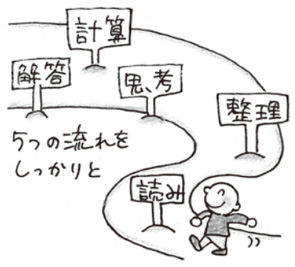
筑波大駒場，開成，麻布，女子学院，駒場東邦，聖光学院，慶応普通部，慶応中等部，早稲田実業，早稲田，海城，豊島岡女子，吉祥女子，鷗友学園，明大明治，広尾学園，浅野，芝，本郷，城北など。

算数　まだまだ弱点の克服は可能、手堅い勉強こそが実を結ぶ！

●読み・整理・思考・計算・解答、この5つの流れを意識する

まず、過去問演習と解き直しの際、常に意識してもらいたいことがあります。それは「読み→整理→思考→計算→解答」この5つの流れをどんな問題でもしっかりと念頭に置いて向き合ってもらいたいということです。

入試問題では1つでもおろそかになってしまうと、行き詰まったりミスにつながったりします。問題の読み間違いや単純な計算ミスなどは誰でも経験があることでしょう。これからはこの5つの過程をより重要視して、順番に丁寧に解きましょう。普段から落ち着いて集中して、取れる問題の取りこぼしをゼロにしていきましょう。



●独自の間違いノートを弱点克服と仕上げの勉強に活用しよう

まだまだ弱点の克服は可能です。底上げのための具体的なやり方として、自分がよく間違えてしまう問題をノートにまとめるのがお勧めです。お手上げ状態ではなく何となくは分かるけれども、いつも間違えてしまうような問題をピックアップします。過去問や公開模試であれば、あまり欲張らずに1回あたり2～4、せいぜい5問に絞ります。コピーして貼るか、公開模試なら切り抜いて貼っても構いません。1週間に1回ノートを開いて解き直しができれば理想的ですが、入試1か月前まで蓄えておいて仕上げの勉強として一気にやっても十分に効果があります。

最後まで弱点から逃げない姿勢は必ず得点を引き上げます。例えば「立方体の切断で頂点と辺の中点を結ぶ切り口がイメージできる」「速さでは線分図で考えるのか、ダイヤグラムで考えるのかの判断ができる」など、頻出問題の考え方の基本をここで改めて確認することができるためです。

●計画は12月まで立て、1月はその時点で立てるのが妥当です

過去問演習を含む勉強の計画は12月末まで立てます。入試まで最後の1月の計画は、その時点で立てるようにします。どの単元と問題に時間を多めに割くか、どこの中学校の過去問を手厚くやるかは状況に応じて柔軟に決めるのが妥当だからです。

最終盤は先ほどの間違いノートも活用します。よく間違える問題が7割以上取れる完成度に達したら、志望順位の高い中学校の過去問で2回目3回目へと進みます。まだ弱ければ引き続き基礎を固めつつ、押さえの中学校の過去問からステップアップを図ります。焦らず現状に合った勉強を積み上げるのが堅実です。

理科　近年の傾向には慣れも必要、計算問題は少しでも上積みを

●リード文から必要な情報だけを抽出するには慣れが必要です

実際に過去問をやってみて分かると思いますが、近年の理科は設問に至るまでのリード文がとても長いケースが多いです。例えば「友人とキャンプに行った」あるいは「父親と公園に散歩に行った」などのシチュエーションから長々と文章が続きます。場合によっては会話まであります。ようやく読み終えて、そこでやっと季節の草花や目にした昆虫や星座、天気や地形などについて問われます。

この出題形式への対策は、ズバリ慣れてしまうことです。リード文から必要な情報だけを抽出するには慣れが必要です。そこで、志望校以外の過去問にもできるだけ触れてこなしておきましょう。「答えは知っていたのに、何を聞かれているかが分からなかった」などのもったいない失点を防ぐには、これが一番です。できるだけ多くの問題に挑んで、忘れている部分を復習すると同時に不足している知識は確実に補っておきましょう。

●計算問題では、まず比例・反比例の考え方を頭に浮かべよう

計算問題への対応について、キーワードは「比例・反比例」です。化学分野の水溶液と中和、物理分野の力学（てこ・ばね）と電流（直列・並列）などの計算問題の大半は比例・反比例の考えに基づいての計算になっています。

したがって、計算問題を解く際には予め比例、たまに反比例の考え方を使うと思ってやってみましょう。いざ計算という段階で、これが頭にあるとないとでは計算のしやすさが段違いで当然ミスも出にくくなります。もちろん、各単元の解き方の基本パターンはしっかりと押さえておく必要がありますが、計算問題が嫌いな受験生ほど粘って得点に結びつけてもらいたいです。

地理はグラフや表を読み取る問題に注力します。テキストの巻末にある単元と地域別のまとめを見て、農業や工業などで特徴的な地域や場所を再確認しておきましょう。また、地図帳も活用して、地形的な特徴もセットで押さえます。

歴史も地理も総合的に出題されますが、どれもこれまでに学んだ知識をベースにして答える問題です。頭の中の引き出しに収まっている知識を問題に合わせて取り出せるか、組み合わせられるかが鍵を握ります。あえて受験しない中学校の過去問演習を通じて、適応力を鍛えるのも一法です。





原（はら）静香（しずか）講師

文系教科指導の専門家で、明るい人柄とお子さんに寄り添った熱心な指導が持ち味。難関校から中堅校まで記述問題に対する指導のノウハウを豊富に持つ。苦手だった国語や社会が得点源となったお子さんも多い。

最近の合格実績

女子学院，雙葉，駒場東邦，慶応中等部，早稲田実業，早稲田，海城，豊島岡女子，浦和明の星女子，桐朋，巣鴨，芝，学習院，吉祥女子，鷗友学園，白百合学園，学習院女子，頌栄，香蘭，大妻など。

国語　選択肢、書き抜き、記述問題　解き方のポイントを再確認！

●「頑張って身につけたことを実行する」という気構えで臨む

過去問演習では、これまでに塾などで学んできた説明文や物語文の読みこなし方を実際に行ってみましょう。例えば「線を引く、印をつける、□で囲む」など、色々と習っていると思います。しかし、いざ公開試験や過去問になると、できなくなるお子さんもいます。

いつもとは違う緊張感や制限時間がある中で、普段通りの読み方や解き方ができれば入試本番で必ず役立ちます。ですから、過去問を解く際には落ち着いて、まずは「頑張って身につけたことを実行する」という気構えで臨んでほしいです。

●設問文も大切、自分の思い込みで間違った解釈をしないこと

題材文のみならず、設問文も目を切らずにしっかり読んでほしいです。設問文は自分の思い込みで間違った解釈をしてしまうお子さんがいます。例えば、問われているのは理由なのか内容なのか。また、正しい文章を選ぶのか誤りのある文章を選ぶのかなど、取り違えて解答してしまうことは案外多いです。では、これらを踏まえて問題ごとのポイントをお話しいたします。

選択肢の問題は各選択肢の最後の部分（感情や結果）に注目し、題材文と照らし合わせて消去法で正答を選びます。書き抜きの問題は、最近は穴埋め形式が多くなりました。解答に一部分が記載されていて、2か所程度の空欄に語句を入れるパターンです。この解答の一部分は重要な手がかりになりますから、題材文・設問文ともに何度も読み返して該当箇所を探します。

●記述問題は文末を決めて、後ろから順に書くのが合理的です

記述問題は問われているのが理由なのか内容なのかを確認して文末を決めます。ですから、理由は「～だから。」内容は「～こと。」となります。そして、後ろから文章を組み立てます。例えば、物語文なら気持ちを押さえて、その感情に至った出来事や場面の変化を後ろから順に書いていきます。説明文なら筆者の主張や結論などをまず押さえて、それが「何」についてなのかを後ろから書いていきます。全体のテーマ、題材文中のキーワードの説明が「何」に当てはまります。

頭から書き始めて途中で消してまた最初から書くと、かなり時間を浪費します。それに対して、このやり方は途中で修正する際も全てを消さなくて済みます。また、文字数を数えやすく全体のイメージもつかみやすいので合理的です。

社会　幅広く過去問に取り組んで、入試問題への適応力を養おう

●読む必要のない部分を見抜いて、惑わされないようにしよう

過去問を解き直す際、ぜひ次のことを知っておいてほしいです。入試問題のリード文には、解答に直接関係しない文章も含まれていることです。つまり、いたずらに複雑化するために存在する部分も含まれているのです。

解き直す際、解答に必要な部分はどこだったのか、リード文に線を引いて確かめてみましょう。意外なほど読む必要のない部分が含まれていることに気づくと思います。この確認を繰り返していくと、解答に関係する部分をうまく探すコツが掴めるようになります。入試問題特有の長いリード文に惑わされないようにすることが大切です。

●頭の中の知識を取り出せるか、組み合わせられるかが鍵です

歴史はつながりを押さえることが重要です。時代ごとに知識の量を増やすことも大事ですが、ここからは時代ごとに区切らずに全体として流れをつかむようにします。具体的には、政治史と経済史を古い時代から新しい時代までずっと追いかけます。社会に自信があれば文化史も追いかけます。変革とそのきっかけ、影響を与えた人物などをノートにまとめます。蛍光ペンでテキストに直接マーキングする手もあります。細かい知識はこの勉強を通して補います。

― 教務の現場から❼ ―

●勤労感謝の日、他に何の記念日がある？

本日11月23日は「勤労をたっとび、生産を祝い、国民互いに感謝しあう」勤労感謝の日ですが、この日は他にも多数の団体が独自に記念日を設定しています。「あんこうの日」「牡蠣の日」「手袋の日」「ゲームの日」など、何故かは割愛いたしますが実に多いです。

その中で日本フードサービス協会は「会社勤めの方だけでなく、いつも家事をしている方も労うことを目的」として「外食の日」を制定しています。なるほど、上手い言い方をします。

さて、中学受験は受験生のみならず、支える家族全員に大切な役割があります。また、この時期は過去問の得点や併願校の選択など、気になることだらけではないかと思います。そこで入試を迎えるまでに、何度か外食で受験とは関係ない会話をしてみてはいかがでしょうか。折に触れて家族でお互いを労いあうのは、とても素敵なことだと思います。

教務：谷地又

学生は一切派遣していません

創立40年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

小6受験生へ　追い込みの勉強にお役立て下さい

◆ 冬休み 直前 志望校対策コース ◆

【日程】入試までの期間中、ご希望の日時・回数と教科で受講いただけます。
【内容】直前の指導で結果を出してきた専門家庭教師による志望校対策です。
【費用】回数・時間数を問わず入会金は必要ありません。

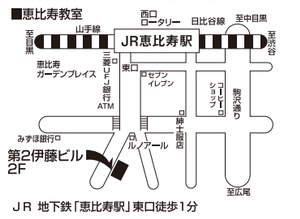
コース	6時間	10時間	14時間	20時間
指導料	54,450円	87,450円	119,350円	163,900円

※冬休み前からや年末年始の期間の受講もできます。また、オンラインでの受講も可能です。
※上記の指導料は税込です。別途、講師の交通費がかかりますが、その他の費用はありません。
※回数と時間数は上記以外でも可能です。講師を選ぶ際、おおよその時間数のご希望をお聞きいたします。
※本コースに体験授業はありませんが、教務が責任を持って適任の講師を人選いたします。
※初回の授業終了後、予定回数分の指導料をご請求いたします。未消化の分はご返金いたします。

創立40周年
入会金【40%割引】実施！
税込 33,000円 → 19,800円
［一家庭1回で兄弟姉妹にも有効］
広告有効期限：2027年1月末日まで

麻布個人指導会は創立40周年を迎えました。その節目にあたり、入会金40%割引キャンペーンを実施いたします。
講師一人ひとりの経験・実績・人柄などの質と、全体としての層の厚さが創立以来培ってきた当会の最大の強みです。
現状に少しでも不安があれば、この機会にぜひご相談下さい。これまでも、そしてこれからも中学受験を支える家庭教師を派遣いたします。

完全1対1個人指導教室



JR 地下鉄「恵比寿駅」東口徒歩1分

5年生・4年生へ　新年度2月からの予約も受付中です

◆ 通常コースのご案内 ◆

◎指導料は月ごとの完全な後払いです
●入会金　33,000円 → 19,800円（税込）
［一家庭1回で兄弟姉妹にも有効 ※広告有効期限：2027年1月末日まで］
●指導料　月額52,800円～79,200円（税込）〈週1回・各2時間の授業で月4回の場合〉
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。　※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

◎体験授業で講師の指導力と相性をご確認下さい
■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。

●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会
●固定電話から　0120-14-3004
●携帯電話から　03-3440-1940
《受付時間》朝7：30～夜7：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●HPで最新情報更新中　麻布個人指導会　検索
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F